

IV-4 広報活動の実施

(1) ニュースレター発刊

男女共同参画室の活動を学内、学外に広く広報する目的ですべての教員、職員、大学院生に配布した。さらに全国の大学、研究機関等、関係部署に配布し、各種催事でも配布した。

ニュースレター創刊号（第1面）（平成22年7月発行）

創刊号 2010.7

平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」
学部・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン
岡山大学ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

Newsletters

はじめまして！岡山大学ダイバーシティ推進本部
男女共同参画室からのお知らせです！

もくじ	
学長ご挨拶	1
理事ご挨拶	1
ニュースレター創刊号発刊によせて	1
男女共同参画への取り組み（平成21年度）	2
岡山大学WTT教員制度をご存じですか	2
男女共同参画への取り組み（平成22年度）	3
平成22年度活動予定	3
男女共同参画室員からのメッセージ	4
編集後記	4

学長ご挨拶



国立大学法人 岡山大学
学長 千葉 喬三

岡山大学は、「学部・岡山大学」として中国・四国地域における中核的な学術拠点となることを目指しています。その実現のためには、優秀な教育・研究人材の確保・育成が大きな課題であり、特に女性研究者、外国人研究者等多様な人材が活躍できる環境を整備することが求められています。

岡山大学では、本年4月にはウーマン・テニユア・トラック(WTT)制による最初の女性助教4名を本学にお迎えしました。次世代の女性研究者のロールモデルになっていただくためにも優れた研究者として活躍していただくことを大いに期待しています。

今後とも、男女共同参画室を中心に、男女共同参画の推進とワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組んでまいりたいので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

理事ご挨拶



国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部
本部長 田中 宏二
(理事・副学長)

岡山大学ダイバーシティ推進本部では、四つの室を中心に、長期的視野で組織の持続的発展を図り、全ての職員のワーク・ライフ・バランスの推進を目指して様々な施策を実行しています。特に昨年度から学童保育所、病児・病後児保育施設の設置、保育所の全学施設化など、具体的な施策が急ピッチで進められています。

このような状況の中で、「女性研究者支援モデル育成」事業に採択された「学部・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」は、男女共同参画推進の大きな追い風になると考えております。

本事業の実施を通じて男女共同参画の推進だけでなく、本学でのダイバーシティ文化の醸成と共生社会の実現に努めてまいりたいので、一層のご支援をお願いします。

ニュースレター創刊号発刊によせて



国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部
男女共同参画室
室長 沖 陽子

すなわち「研究体制サポート」を充実させ、「雇用」のチャンス確保し、「持続性」のある次世代女性研究者の人材育成が保証される「循環型システム」の実質化に向けて、室員一同、走ってまいりました。その成果をニュースレター創刊号にて、皆様方にお知らせできることは、大変、喜ばしいことであり、また皆様方の温かいご支援に感謝いたします次第です。

本室では、次世代を見据えて、女性・男性共に大いなる資質と能力が持続的に開花する環境整備を目指して、これからも活動を進めて参ります。男女共同参画社会構築に向けて、意識改革、意識啓発の一助となるニュースレターを定期的に発行することにより、学内はもとより学外の皆様方とも楽しい輪が広がることを切に希望致しております。ご一緒にニュースレターを育てて頂ければ幸いです。

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室は平成21年1月に開設し、その後、平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に「学部・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」が採択され、私どもの活動に弾みがつきました。

平成21年度は、企画いたしました3本の進化プラン、

ニュースレター創刊号（第2面）（平成22年7月発行）

男女共同参画への取り組み（平成21年度）

メンター研修会を開催しました

平成21年12月7日・8日、メンター養成研修会を行いました。メンターとは、相談者の可能性を最大限に引き出しながら、適宜助言をし、人生相談にも応じられる信頼の置ける相手のことをいいます。



研修会では、メンターの養成を目的として、相談者の知識や経験をいかに引き出すか、相談者との信頼関係はどう構築するのかについて学びました。発問の仕方、ロールプレイ演習等を通して、コミュニケーション能力の向上につながる研修でした。休憩をはさんで8時間にわたる長丁場でしたが、非常に充実した活気あふれる2日間となりました。

平成21年度交流サロン



男女共同参画や女性研究者支援に関する情報交換、意見交換などを目的として、平成21年9月29日に第1回交流サロン、同11月13日に第2回交流サロン、平成22年3月5日に第3回交流サロンを開催しました。講演後お茶をいただきながらのフリートークでは、和やかな空気のなか、活発な意見や感想が交わされました。

国際シンポジウム開催



平成22年3月6日、岡山国際交流センターレセプションホールにおいて、岡山県・岡山市のご後援の下、「世界は今、そして未来は—男女共同参画とワーク・ライフ・バランス」と題して男女共同参画推進国際シンポジウムを開催しました。

日本の男女共同参画社会の構築は、世界の中でもかなり遅れています。大学等の研究機関も例外ではなく、特に自然科学系の分野においては、意識啓発、並びに雇用促進等を早急に行わなければならない状況にあります。

本シンポジウムでは、川端和明氏（文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課長）、佐藤洋平氏（独立行政法人農業環境技術研究所理事長）並びにタイ、カナダ、韓国出身の研究者をお迎えして、研究者育成施策に関する御助言等を頂きました。

岡山大学WTT（ウーマン・テニユア・トラック） 教員制度をご存じですか

岡山大学では、「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」の一環として、若手女性研究者を対象に「ウーマン・テニユア・トラック(WTT)」教員制度を発足させ、平成22年4月1日に第一期WTT教員4名が採用されました。

採用された第一期WTT教員をご紹介します。(五十音順)

【所属】大学院自然科学研究科
機能分子化学専攻
(理学部附属界面科学研究施設)



江口 律子

たくさんの学生さんに囲まれてにぎやかに教育や研究が行える環境が大学の良さだと感じています。研究分野からすると女子学生の少ない分野ではありますが、自らの研究を通して一人でも多くの学生さんが物性研究に興味を持ってもらえたらと思います。周囲の刺激を受けながら様々な経験を経て自分自身も成長していけるように頑張ります。

【所属】大学院自然科学研究科
バイオサイエンス専攻
(理学部附属牛窓臨海実験所)



御興 真穂

出身は大阪ですが、10年以上を首都圏で過ごし、久しぶりに西日本に戻ってきました。岡山には初めて住みますが、瀬戸内海は波も穏やかでよいところです。研究はもちろん、臨海実験所ならではの教育にも貢献していきたいと思っています。

【所属】大学院自然科学研究科
バイオサイエンス専攻
(資源植物科学研究所)



三谷 奈見季

多くの人に支えられ、WTT教員としてスタートをきることができました。このチャンスを活かせるよう、しっかりと目標を持ち、かつ楽しみながらのびのびと研究を行っていきたくと思っています。そして研究者を目指す女子学生の皆さんに良い刺激が与えられれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

【所属】大学院自然科学研究科
バイオサイエンス専攻
(理学部生物学科)



吉岡 美保

先日、新入生の研修旅行に教員として初めて同行し、記念に「ランタナ」という花をそこの朝市で買いました。蕾が開くにつれて、花の色が黄色→オレンジ色→赤色と鮮やかに変化していきます。花言葉「協力」そのままに、小さな花が一カ所にたくさん集まって咲くほほえましさ、成長とともにいろいろな花色を見せる面白さに魅力を感じました。この場でご挨拶できることに感謝し、私もランタナの花のようにたくさんの方と協力しながら、母校岡山大学の教育と研究に貢献できるように一生懸命がんばりたいです。

男女共同参画への取り組み (平成22年度)

研究サポート体制



男女共同参画室では、本学の女性研究者に対する支援の一環として、出産・育児等の理由で研究時間の確保が困難な理系の常勤女性教員を対象に、教員の指示の下で研究補助業務(実験補助、研究データ解析、文献調査、統計処理、資料作成等)に従事する研究支援員を配置する研究支援員事業を実施しております。現在、2名の女性教員が制度を利用して、週20時間の支援を受けています。

研究支援員事業の利用を希望される方は男女共同参画室までお問い合わせ下さい。



キャリアカフェで ゆるやかなひととき

平成22年5月26日、女性研究者および大学院生を対象としたキャリアカフェが女性サポート相談室で行われ、参加者からは女性研究者を目指すにあたっての不安や問題などが活発に語られました。所属分野が違うものの、文系や理系の女性研究者への道程には共通した課題が多いことを受けて、小冊相談員より女性研究者支援事業の現状と岡山大学における取り組みが説明されました。参加者の様子からは、厳しい状況を知ったうえで、それを乗り越えていきたいという意気込みを感じました。紅茶とクッキーをいただきながらの短いひとときでしたが、終了後には「初めて会うにも関わらず十分話すことができて良かった」「またぜひ参加したい」などの感想が寄せられました。

女性サポート相談室のご案内

岡山大学に所属する女性(教職員・研究者・学生)を対象に、キャリア確立・仕事と育児の両立・人間関係の悩み等に関する相談窓口として、開設しています。業務の都合で来室できない方のため、メールや電話での相談も受け付けていますので、お気軽にご利用ください。

【電話番号】086-251-7011

【E-mail】support-w@adm.okayama-u.ac.jp

詳細は下記URLをご覧ください。

http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo/soudan_1.html

平成22年度第1回交流サロンを 開催しました



平成22年6月4日、岡山大学50周年記念館で「平成22年度第1回交流サロン」を開催しました。

今回は、岡山大学大学院自然科学研究科副研究科長の稲垣賢二教授による「若い世代へ贈る言葉：共働き、子育てを楽しむもう1」と題したお話の後に、全員が輪になり、交流サロンを行いました。

交流サロンでは「女性が働きやすい条件とは何か?」「二十代女性の専業主婦願望が高まっているのはなぜか?」等活発な意見が交わされました。国内の話題に加えて、海外事情についても討議され、充実した笑いの絶えない2時間は、あっという間でした。

次回交流サロンのお知らせ

【テーマ】「育児と仕事の両立～どんな感じ? 何が問題?」

【日時】平成22年7月30日(金)(16:15~18:15)

【場所】岡山大学本部棟6階第1会議室

出産・育児は女性が働く上で大きなハードル。教員、職員の方たちがリアルタイムの体験談をお話しされた後、みんなで交流タイムです。ちよっと貴重な体験を、なごやかなサロン形式でご一緒しませんか? みなさんお誘い合わせの上、ふるってご参加ください。



おかやまサイエンス・トーク を実施しました



平成22年7月1日、岡山大学と岡山县立岡山一宮高等学校の共催で「第1回おかやまサイエンス・トーク」を岡山一宮高等学校で開催しました。先輩にあたる女性研究者及び大学院生が、現在進めている

最先端の研究内容を高校生にわかりやすく紹介しました。

また、「フリー・トーキング」では、「少しだけ先輩」の演者と身近な問題、将来的問題、人生などについてざっくばらんに話し合いました。

平成22年度活動予定

- ・第2回交流サロン開催(7月30日)
- ・岡山大学オープンキャンパス参加(8月6~7日)
- ・管理職セミナー実施(9月10日)
- ・メンター制度に関するセミナー開催(9月~10月)
- ・シンポジウム開催(12月18日)
- ・おかやまサイエンス・トーク(第2回~)実施
- ・ニュースレター第2号・第3号発行
- ・研究支援員事業利用者募集
- ・メンター養成研修実施
- ・第2期WTT教員募集



オープンキャンパスに 参加します!

平成22年8月6日(金)と7日(土)に行われる岡山大学オープンキャンパスに男女共同参画室が参加します。「男女共同参画コーナー」のブースで、岡山县・岡山市と連携して、これからの人生設計に役立つ情報を満載した資料やパネルなどを多数用意してお待ちしています。男女共同参画室員がおりますので、気軽にのぞいてみてください。理系を目指す方には朗報がみつかると思います。また、男女共同参画に関するパネルも多数展示します。詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/prospective/koukai01.html>

ニュースレター創刊号（第4面）（平成22年7月発行）



男女共同参画室員からのメッセージ



岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室が開設して、はやくも1年半近くの歳月が流れました。今後も室員一同、力を合わせて男女共同参画社会形成へ向けて努力して参ります。



男女共同参画室
副室長
富岡 憲治

昨年度から男女共同参画室の室員を務めています。本学が、教職員・学生にとって男女を問わず生き生きと働き・学ぶ場となるためには、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭に費やす時間のバランス)を始めとして多くの克服すべき問題があります。それらの問題の解決に向けて努力したいと思っています。

(岡山大学大学院自然科学研究科 教授)



広報・意識啓発推進
部門長
中谷 文美

今年から発足した広報・意識啓発推進部門では、さまざまな媒体を使って情報発信していくとともに、学内外のさまざまな立場の方が集い、意見を交換し合えるような場づくりを心がけていきます。

主な活動の柱としては、①ニュースレターの発行(年3回予定)、②交流サロンの開催、③シンポジウムの企画、があります。そのほか、オープンキャンパスや学園祭でも「進化プラン」の内容や、男女共同参画室の取り組みをご紹介していく予定です。

(岡山大学大学院社会文化科学研究科 教授)



環境整備・支援推進
部門長
五福 明夫

本学の女性教職員のセンス、パワーに圧倒されながらも、男女共同参画に関連する活動を通して、異なる立場からの見方や考え方を吸収して個人的にも成長したいと考えています。

環境整備・支援推進部門では、研究サポート体制の確立とそれによる研究者支援、相談室の運営などの活動を行っており、関連してメンター養成研修の開催や人材登録バンクの充実を図っていきたくと考えています。

本学にとっては新しい活動ですので、斬新なアイデアをお待ちしております。

(岡山大学大学院自然科学研究科 教授)



次世代女性研究者
育成推進部門長
坂口 英

昨年12月から、男女共同参画室に加わりました。室会議や交流サロン、シンポジウムへの参加を通じて、女性教員のサポート体制や男性の意識改革などの必要性について痛感しています。農学部では現在女性教員数は1と少ないですが、農学の幅広い学問分野の中で、女性の大学院進学者や研究者数は少なくはないので、安心して利用できるサポート体制が整備されれば、今後農学部での女性教員の増加は大いに期待できるものと考えています。

(岡山大学大学院自然科学研究科 教授)



男女共同参画室
特任教授
本水 昌二

平成21年度採択「学部・岡大発女性研究者が育つ進化プラン」推進の一環として、交流サロン、国際シンポジウム、ウーマン・デニチュア・トラック(WTT)制度立ち上げ等、多くの方々のご協力により行うことができました。男女共同参画社会、女性研究者支援の基本理念としては、「ワーク・ライフ・バランス(WLB)」が最重要と考えます。岡大の変貌を期待し、全ての大学構成員で今一度WLBを考えてみましょう。

その他の室員

片岡 仁美	(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授)
根岸 友恵	(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授)
篠原 陽子	(岡山大学大学院教育学研究科 講師)
白髭 明	(岡山大学自然系研究科等事務部総務課長)
小西 充	(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等事務部総務課員)
早川 みどり	(岡山大学総務・企画部人事課 主査)
藤井 雅美	(男女共同参画室 特任助教)
保坂 雅子	(男女共同参画室 特任助教)
増田 治美	(男女共同参画室 事務職員)
松田 千寿栄	(男女共同参画室 事務職員)
門脇 孝弘	(男女共同参画室 技術職員)

編集後記

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室では、昨年度の国際シンポジウムをはじめとして、岡山県や岡山市と協働し、地域連携の推進に務めています。本事業も2年目をむかえ、さらなる躍進に向けて室員一同、気持ちも新たに邁進していく所存です。今後ともこのニュースレターをよろしく願っています。

お知らせ

男女共同参画室では、ロゴマークを全国から募集し、応募のあった13作品の中からロゴマークを決定しました。採用作品を右に示しておりますが、岡山大学の「O」をモチーフに、岡山特産のマスカットをイメージさせて描かれ、未来をみつめる男女を表すと同時に、創造性・革新性・柔軟性をそれぞれ意味する三つの輪をつなぎ合わせることで共生社会が表されています。



お問い合わせ



国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室
〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL & FAX: 086-251-7011
E-mail: san.kaku1@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinj/diversity/danjo/

ニュースレター第2号 (第1面) (平成22年11月発行)

第2号
2010.11



平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」
学部・岡大発 女性研究者が育つ進化フラン
岡山大学ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室



Newsletter

もくじ

男女共同参画室の取り組み…………… 1-2

岡山大学に息づく研究者たちの軌跡…………… 3

イベントなどのお知らせ…………… 4

男女共同参画室員からのメッセージ…………… 4

★男女共同参画室の取り組み★

★第1回男女共同参画に関する管理職セミナーを実施しました

9月10日、本部棟第一会議室で「第1回男女共同参画に関する管理職セミナー」を実施しました。この管理職セミナーは、前東北大学理事（人事労務・キャンパス環境・男女共同参画担当）である折原守氏を講師としてお招きし、本学の管理職員を対象に行いました。

セミナーには、役員4名を含む50名もの管理職員が多忙な業務の合間を縫って参加されました。講師の折原守氏からは、東北大学におけるベビーシッター利用料補助制度など全国から注目を浴びた育児支援を含む教々の取り組みや、大学中核部への女性参画の現状に関する講演をしていただきました。また「ぜひ第2回の管理職セミナーも実施してください。」と励まし言葉もいただきました。

セミナーでは沖陽子室長が本学における男女共同参画の取組状況を報告すると共に本年4月に採用されたウーマンテニュアトラック教員の活躍等を紹介いたしました。最後に千葉喬三学長から「男女共同参画に関する本学構成員の意識を変えていく必要がある。」という強い意思表示があり、セミナーは盛況のうちに締めくくられました。



★第1回外部資金獲得セミナーを開催しました

9月16日に、大学病院キャリアセンターと共同で外部資金獲得セミナーを実施しました。セミナーではまず、「科学研究費補助金申請書の書き方」に関する講演を、研究推進産学連携機構の阪田祐作研究推進部長に行ってくださいました。次に、「私の研究費獲得経験」と題して、大学院医歯薬学総合研究科の池亀美華准教授及び大守伊織助教に、研究費獲得に関する経験に加え、研究がうまくいかない時期も含め研究活動を継続的に進めていく上で有益なアドバイスを提供していただきました。研究費を獲得することが「自立・自由・自信」につながる、ことであるという池亀准教授の言葉には参加者一同が納得しました。

このセミナーは男女共同参画室が鹿田地区で実施した初めての事業となりましたが、1時間半の予定時間を超えた後も参加者の外部資金獲得に関する関心の高さが窺われました。



ニュースレター第2号（第2面）（平成22年11月発行）

男女共同参画室の取り組み

★第2回交流サロンを開催しました

7月30日、「育児と仕事の両立～どんな感じ？何が問題？」と題し、第2回交流サロン&キャリアカフェを開催しました。今回は社会文化科学研究科の松本直子准教授、奥平寛子准教授、同研究科教務学生係長の中村美紀子氏から、育児と仕事の両立をめぐる話題提供が行われたあと、活発な意見が交わされました。

働く女性が将来を考えると、育児と仕事の両立は避けて通れない悩みといえるでしょう。参加者からは「育児休暇を長期間取りたくても、早く復帰しなければならない雰囲気があり取りにくい。」「保育園に通っている間は安心だが、小学校入学が大きな山。学童保育はあるけど3年生まで。」など、さまざまな問題点や課題についての意見が出ました。また、今回は初めての女性サポート相談室のキャリアカフェとの合同イベントでもあり、活気の中に和やかさも漂う新たなスタイルのサロンとなりました。



★第2回・第3回サイエンス・トークを開催しました



8月26日、第2回おかやまサイエンス・トークがノートルダム清心学園清心女子高等学校で、9月28日、第3回おかやまサイエンス・トークが、岡山県立総社高等学校で開催されました。

WTT教員と大学院生の研究紹介のあと、フリートークでは活発な意見交換が行われました。



★第3回キャリアカフェを開催しました

9月29日、女性サポート相談室主催の第3回キャリアカフェが医学部記念会館3階の女性サポート相談室で行われ、「仕事と子育ての両立に関する課題」について話し合われました。当日はお昼休みの時間を使って開催され、持ち寄りのお弁当を食べながらリラックスした雰囲気の中、さまざまな意見が出されました。参加者からは、妊娠・出産に伴う不安を相談できる人が職場内には少ないことや、妊娠・出産に伴う休暇制度を気兼ねなしに使うための職場の理解を求める声がありました。多くの課題が出された中、共通点としてみえてきたのは、職場内の適切なコミュニケーションの不足であり、それを補うことこそが女性たちへの心強いサポートになりうるということでした。相談員からは、女性サポート相談室が妊娠・出産・職場復帰にかかわる不安に対する相談と情報の提供を行っていることが紹介されました。

女性が生き生きと子育てと仕事をするためには多くの問題がありますが、女性サポート相談室では、学内の人と人とのつながりを作りその中で互いに支えあうことが両立支援の1つと考え、こうした活動を実施しています。仕事と子育ての両立に関する問題は、女性一人の問題ではなく男女双方、また組織全体の問題です。今後は、男性職員の方にもご参加いただき、働きやすく子育てしやすい職場の雰囲気作りを一緒に考えてもらえたらと思っています。

女性サポート相談室の利用案内 Tel: 086-251-7011 E-mail: support-w@adm.okayama-u.ac.jp

★オープンキャンパスに参加しました

8月6日・7日、岡山大学オープンキャンパスが開催されました。今回はダイバーシティ推進本部男女共同参画室としては初めての参加でしたが、高校生および来場者とのトークも充実したものになりました。また、岡山県男女共同参画推進センター、岡山市男女共同参画推進センターとのコラボレーションで男女共同参画に関するパネル展示も行いました。

高校生への広報・意識啓発という課題に向けての新たな取り組みの中で、高校生、保護者、教員のみなさんが熱心に耳を傾けてくださいました。



岡山大学に息づく研究者たちの軌跡

★好きなことを追求して★

私は情報工学科でヒューマンコンピュータインタラクションを専門としています。簡単に言えば人間はどのようにコンピュータを使うのがよいのか、コンピュータはどのように人間に情報を提供するのがよいのか、という方法論について研究しています。例えば現在は携帯機器に内蔵されている加速度センサを使ってコンピュータを操作する方法に取り組んでいます。

そもそも、私は研究者ではなく、技術者になりたいと思っていました。やりたいことができなくて困っているお客様を技術で助ける、そんな仕事をしたくて、大学卒業後企業に就職しました。ところが実際に企業の技術者になるには、私には問題があることを発見したのです。

それは、1. お金儲けに興味がない、2. 他人がしていることに興味がない、ということです。

これは、利益を出さなければならない企業で、常に最新の技術を追っかけなければならない技術者にとっては致命的な欠点だと思いました。そこで、企業を辞め、大学院に入り、基本的にはお金儲けのことを考えなくてよく、自分の興味を追求することが許される研究者になる道を選びました。

これまで苦労したことは、思うように研究成果があがらないことくらいなのですが(笑)、その分、配偶者には苦労をかけていると思います。最初から遠距離結婚だったのですが、子どもが生まれ、彼は約8ヶ月ほど育児休暇を取って子どもの世話をしてくれました。その後再び彼は単身赴任で仕事に戻ったのですが、子どもと離れて暮らすことに耐えられなくて結局仕事を辞め、今は一緒に暮らしながら職探しをしています。その間、一度も私が仕事をするのに対して意見をいうことなく、私は自由に好きなことをすることができています。彼をはじめとして私を支えてくれている家族に感謝しています。

★医療教育に捧ぐ★

私は現在、主に薬学部6年制教育の中でも臨床教育に携わっていますが、これまで私が経験してきた事、特に臨床現場での失敗談などを学生さんへ伝えることを心がけています。昭和大学を卒業後、北大薬学部・東工大生命理工学部・聖マリアンナ医大医学部などで研究員・助手を13年経験してから大学病院の薬剤師を8年してきたという経緯があります。臨床研究を行うため、実際に薬物治療をしている患者さんや医師・看護師と会話をし、臨床を自分の目で知ることが薬剤師を経験した一番大きな理由でした。

現在の研究内容は様々な臨床症例に対し薬剤師がどのように関与すればよいか、その問題解決方法を解明することがテーマです。例えば、食事摂取が困難で低栄養状態にある患者の場合、消化管機能の低下やそれに伴い全身的な合併症を来しますが、そうなる前に消化管機能を試験的に調べて予防する方法を見つける研究などを行っています。

プライベートでは、子供が小さい時にはほとんど相手してあげられる時間をとれなかったのが心残りです。息子が小学生になってようやく休日に一緒に過ごす時間を作り、岡山に来る前は3年間ほど息子が入っていた少年野球チームの監督を経験しました。小学生に野球の指導をする中で、どうすれば人に物事を理解できるようにうまく伝えられるかという事を、息子を通じて教えてもらったように感じます。

私の場合、これまで幾つかの職場を経験して、多くの恩師や友人、そして理解ある家族に恵まれたことに感謝しています。今後も岡山大学の学生諸君に、人と人との繋がりが大切であることを伝え、卒業後グローバルに活躍してくれることを期待しています。

自然科学研究科知能ソフトウェア基盤学

笹倉万里子 助教

医療教育統合センター薬学教育部門

名倉弘哲 准教授



ニュースレター第2号(第4面) (平成22年11月発行)

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室ではこれからも、たくさんの事業に取り組みます。女性研究者の支援はもちろん、皆様が働きやすい環境の大学づくりをめざして頑張ります。

★研究支援員事業について

男女共同参画室では、平成21年度より家庭責任と仕事の両立のための環境整備の一環として、出産・育児・介護等の理由で研究時間の確保が困難な理系の常勤女性教員に対する研究活動の支援を試行的に行ってきました。平成22年8月に学長裁定により「岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室研究支援員事業要項」を制定し、研究支援員事業の本格的な運用を始めております。

この度、第1次利用者の募集を行い選考した結果、10月16日付で1名の女性教員に対して研究支援員を配置いたしました。11月1日現在、これまでの利用者を含め合計4名の女性教員がそれぞれ1～2名の研究支援員に週20時間の研究支援を受けています。平成23年度利用分の募集は平成23年1月頃になる予定です。

なお、男女共同参画室では岡山大学人材登録バンクを設置して研究支援員として女性教員を支援していただけの方を随時募集しております。関心をお持ちの方は男女共同参画室までお問い合わせ下さい。

★平成22年度男女共同参画推進シンポジウム

日時：2010年12月18日[土] 14:00から17:00まで
場所：岡山大学創立五十周年記念館 2階会議室

今年度の「男女共同参画推進シンポジウム」は「ダイバーシティこそが活力を生む～女性研究者が活躍できる組織作りをめざして～」というテーマのもと開催します。

講師としてお招きする岩切貴乃氏は、(株)東芝で海外P.Cの商品企画、マーケティング、グローバルセールス、経営企画等を経て、2004年からは人事部門に異動されています。「従業員一人ひとりが共に自分らしく持てる力を十分に発揮する」会社・組織づくりを目指して、社長直轄組織「きらめきライフ&キャリア推進室」の発足時から携わり、2007年から現職の多様性推進部長を務めておられます。

もうお一人の講師、美馬のゆり氏のご専門は、認知科学および教育学です。公立はこだて未来大学の設立準備にかかわり、2000年度の創立時に教授に就任されました。2003～2006年は日本科学未来館副館長も併任し、現在はNHK教育テレビ「サイエンスZERO」にもゲスト出演しておられます。

週末は各地での講演に飛び回っておられるお2人を、今回は岡山にお迎えすることになりました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



男女共同参画室員からのメッセージ

片岡 仁美
(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授)

環境整備・支援推進部門の仕事とともに、鹿田地区での行事や、医療人支援の取組との共催行事の運営に携わっています。男女共同参画室では様々な分野の室員の皆様とともに働くことで、「多様性のある組織」の良さを実感しています。

根岸 友恵
(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授)

男女共同参画室のメンバーとして1年。私自身はもう若手や子育ての支援をいただく立場ではなくなっていますが、これまでいろいろな状況で教育研究を続けてきた中で感じたことを次世代の方の支援につなげていければと思って活動させていただいています。

篠原 陽子
(岡山大学大学院教育学研究科 講師)

昨年12月よりメンバーになりました。次世代女性研究者育成推進部門のおかやまサイエンス・トークでは、頼もしい高校生と出会うことができました。

多様性を認め、誰もが活躍できる環境を整備するために、室員の皆さんと一緒に活動しています。

編集後記

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室より、ニュースレター第2号をお届けします。これまで取り組んできた事業内容をご紹介しますと共に、今回は学内から2名の研究者に登場していただきました。お二人の軌跡を参考にしつつ、我々の取り組みが次世代研究者の活躍の手助けになりますよう、願っております。

お問い合わせ

国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

TEL & FAX: 086-251-7011

E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo/



ニュースレターは男女共同参画室のホームページにて公開している。
(URL:<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo/>)

IV-4 (2) 男女共同参画室ホームページ開設及び現況

平成22年3月に男女共同参画室のホームページを公開した。開設以降は男女共同参画室の事業案内やイベントの開催案内等を随時掲載し、内容の充実を図っている。また、平成22年11月～平成23年1月の3ヶ月間に、カウンタを設置してアクセス数の統計を取ったところ、一日あたり平均20人、一月あたり平均610人の閲覧者を得ていることが分かった。

■ トップページ (H23.2.1 現在)

The screenshot shows the homepage of the Gender Equality Promotion Office at Okayama University. The header includes the university logo, the text 'ダイバーシティ推進本部' (Organization for Diversity Management), and a search bar. Below the header is a navigation menu with categories like 'ダイバーシティ推進本部紹介', '男女共同参画室', '次世代育成支援室', '障害者雇用推進室', and '高齢者雇用安定室'. The main banner features a colorful illustration of a sun, a fish, and a plant, with the text '男女共同参画室' and '学都・国大発 女性研究者が育つ進化プラン'. The main content area is divided into several sections: '重要なお知らせ' (Important Notices), '男女共同参画室' (Gender Equality Promotion Office), 'イベントのお知らせ' (Event Notices), '活動報告' (Activity Reports), 'ウーマン・テニュアトラック(WTT)教員' (WTT Faculty), '女性研究者支援' (Female Researcher Support), '女性サポート相談室' (Female Support Consultation Room), 'アンケート・インタビュー調査' (Survey/Interview), '人材登録バンク' (Talent Registration Bank), 'あかやまサイエンス・トーク' (Akayama Science Talk), '保育施設' (Childcare Facilities), and '他機関連携' (Inter-Organization Collaboration). Each section contains links to various resources and news items.

男女共同参画室ホームページコンテンツマップ (H23.2.1 現在)

男女共同参画室

- 男女共同参画室について
 - ご挨拶
 - スタッフ紹介
 - ロゴマーク
 - お問い合わせ
- 学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン
 - 概要
 - 実施体制
 - 実施内容
 - ミッションステートメント
- イベントのお知らせ
 - 第4回交流サロン & 第2回MUSCAT Juniorミーティング(2011.2.7)
 - 研究スキルアップ講座第3弾 「共同研究の心得」(2011.3.9)
- 活動報告
 - 市民協働事業「アフリカ諸国におけるジェンダー・イシューズの現状！」(2011.1.23)
 - 研究シーズの知的財産化(2011.1.21)
 - 平成22年度 男女共同参画室推進シンポジウム(2010.12.18)
 - ニューズレター第2号(2010年11月発刊)
 - メンタリングに関するセミナー(2010.11.11)
 - 平成22年度交流サロン
 - 外部資金獲得セミナー(2010.9.16)
 - 管理職セミナー(2010.9.10)
 - ニューズレター創刊号(2010年7月発刊)
 - 平成21年度活動報告
- ウーマン・テニユア・トラック(WTT)教員
 - ウーマン・テニユア・トラック教員制度について
 - 平成22年度採用WTT教員紹介
 - 平成23年度WTT教員 募集締切
- 女性研究者支援
 - 研究支援員事業
 - 平成23年度第1次「研究支援員事業」利用者の募集について
 - 女性研究者向け研究助成等公募情報
 - 岡山大学における女性研究者の研究環境
- 女性サポート相談室
 - 女性サポート相談室について
 - ご相談の方はこちら
 - Career Cafe
 - 相談室だより
- アンケート・インタビュー調査
 - 「岡山大学における理系大学院生の研究生活の実態およびニーズに関する調査」のご報告
 - 岡山大学における女性研究者支援に関するニーズ調査結果
 - 岡山大学の男女共同参画推進に関するアンケート調査結果
- 人材登録バンク
 - 人材登録バンクについて
 - 登録はこちらから
- おかやまサイエンス・トーク
 - おかやまサイエンス・トークについて
 - 過去の実施状況
- 保育施設
 - なかよし園
 - かいのき児童クラブ
 - ますかっと病児保育ルーム
- 他機関情報
 - 他機関へのリンク
 - 他機関からのお知らせ

IV-4 (3) 岡山大学オープンキャンパス

① 概要

1. 日時：平成22年8月6日（金），7日（土） 13:00～16:00
2. 会場：岡山大学 大学会館1階ホール
3. 対象者：高校生，引率教員，保護者
4. 実施：岡山大学アドミッションセンター
岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室，岡山県，岡山市
5. 内容：男女共同参画コーナーの設置（パネル展示，ビデオ上映，資料配布）

② 実施内容

8月6日から7日にかけて開催された岡山大学オープンキャンパス2010において，岡山県，岡山市と協働して男女共同参画コーナーを設置し，高校生及び来場者とのトーキングを通じた情報提供を行った。

オープンキャンパスへの参加は初の試みであったが，岡山県，岡山市の協力の下，パネル展示，ビデオ上映など内容を充実させることができた。その結果，2日間で約170名もの来場者があり，理系を目指す女子学生に役立つ情報や男女共同参画に関する情報など，これからの人生設計に役立つ情報を発信することができた。

また，高校生のみならず引率教員や保護者の方々が熱心に耳を傾けて下さり，広範な広報活動を実施することができた。



男女共同参画室員とのトーキング

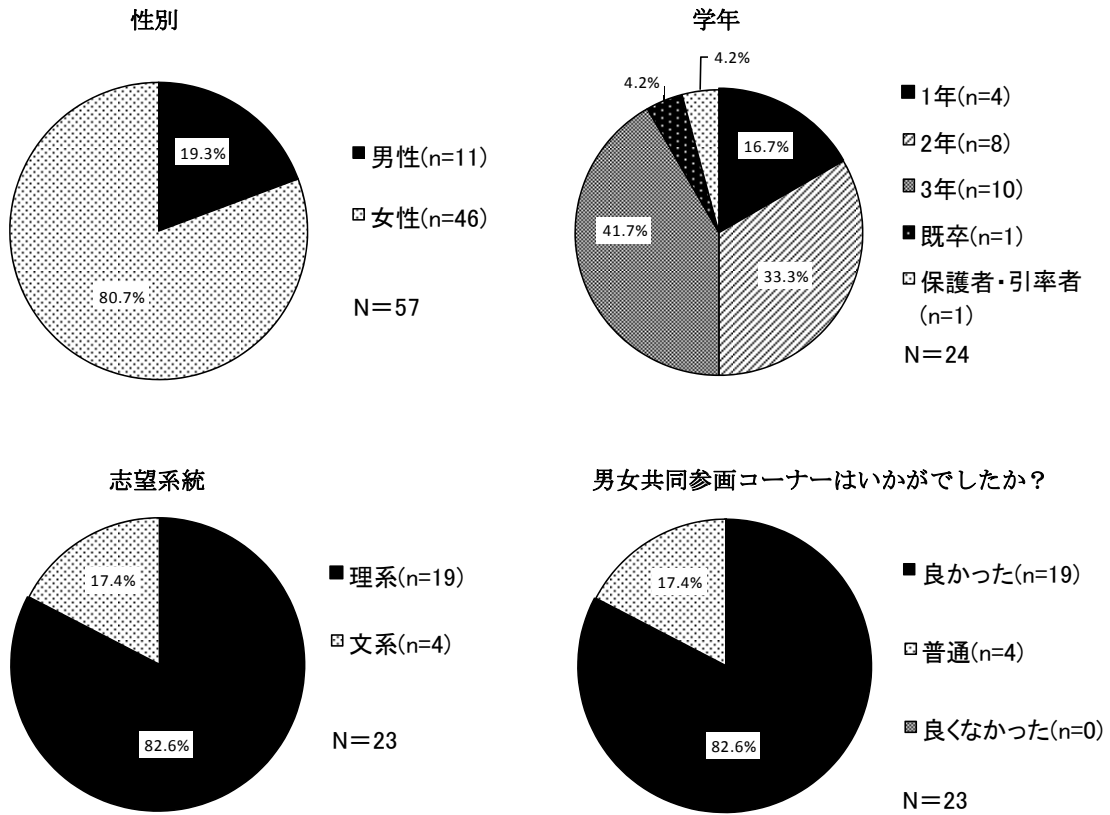


パネル展示（岡山県）



ビデオ上映（岡山市）

③アンケート結果（名簿記入57名，アンケート回収24名）



岡山大学オープンキャンパス2010 パンフレットから抜粋

OPEN CAMPUS 2010 8/6 Fri - 7 Sat

2010年入試説明会日程

会場	時間	内容
岡山大学総合体育館	8月6日(金) 10:00~11:00	岡山大学総合体育館1F 入試説明会
	8月6日(金) 11:00~12:00	岡山大学総合体育館1F 入試説明会
	8月6日(金) 13:00~14:00	岡山大学総合体育館1F 入試説明会
	8月6日(金) 14:00~15:00	岡山大学総合体育館1F 入試説明会
学生オープンセンター	8月6日(金) 10:00~11:00	岡山大学総合体育館1F 入試説明会
	8月6日(金) 11:00~12:00	岡山大学総合体育館1F 入試説明会
	8月6日(金) 13:00~14:00	岡山大学総合体育館1F 入試説明会
	8月6日(金) 14:00~15:00	岡山大学総合体育館1F 入試説明会
講堂	8月6日(金) 10:00~11:00	岡山大学総合体育館1F 入試説明会
	8月6日(金) 11:00~12:00	岡山大学総合体育館1F 入試説明会

津島キャンパス：大会館1F **総合案内センター**

岡山大学総合体育館1F 入試説明会センターをのりこめてください。各学部等の入試説明会や各種イベントの案内を行っています。皆様からの声のかけがえる学生相談コーナーもあります。

A 学生相談コーナー ▶▶先輩たちの生の声を聞こう！ 8月6日(金)・8月7日(土) 9:30~16:00 在学生による個別相談セッション、学生生活、奨励制度、何でも相談してください。	B 学生サポート ▶▶学生生活で気になる事はココ！ 8月6日(金)・8月7日(土) 9:30~16:00 入学料免除、授業料免除、奨学金、課外(サークル)活動、女子学生寮相談	C 入試について ▶▶ここでは聞けない入試の話 8月6日(金)・8月7日(土) 9:30~12:00 入試説明、個別相談 13:30~16:00 入試説明、個別相談	D 海外留学案内 ▶▶世界に飛び出せ！未来の岡大生 8月6日(金)・8月7日(土) 10:00~12:00 個別相談(随時実施) 11:00~11:30 第1回海外留学の紹介 13:00~16:00 個別相談(随時実施) 13:00~15:30 第2回海外留学の紹介 15:00~15:30 第3回海外留学の紹介
E 就職サポート ▶▶気になる卒業後の就職先は...？ 8月6日(金)・8月7日(土) 10:00~11:00 ネットワ相談 ネットワガイダンス 13:00~15:00 ネットワ相談 ネットワガイダンス	F 外国語教育案内 ▶▶コミュニケーション能力を高めよう 8月6日(金)・8月7日(土) 10:00~16:00 外国語についての個別相談	G 生協コーナー ▶▶初めての一人暮らしも安心です！ 8月6日(金)・8月7日(土) 9:30~16:00 下宿相談等	H 男女共同参画コーナー ▶▶これからの入試設計に役立つ情報！ 8月6日(金)・8月7日(土) 10:00~16:00 男女共同参画委員とのトークショー ●男女共同参画センター ●理系6科女子学生に特設

※受付時に説明資料を配付します。※ 登壇は南校舎1階・北校舎1階・東校舎1階・津島キャンパス1、岡山大学学生協賛田舎(岡山キャンパス)等が利用できます。

IV-4 (4) 男女共同参画室ロゴマーク

① 概要

平成22年4月22日～5月20日の期間に、「未来につながる男女共同参画社会をイメージさせるデザイン」「創造性・革新性・柔軟性を高め、共生社会を実現していくイメージ」をコンセプトに男女共同参画室のロゴマークを募集したところ、全国各地から13点の応募があった。

厳正なる選考の結果、京都市在住の居関孝男氏制作の作品を「岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室」のロゴマークに決定した。ロゴマークは、岡山大学が推進する「男女共同参画」に、本学構成員や延いては全国の方々にも広く関心をもっていただくことを目的として、広報印刷物などに活用している。

②男女共同参画室ロゴマーク



岡山大学の「O」をモチーフに、岡山特産のマスクットをイメージして描かれ、未来をみつめる男女を表すと同時に、創造性・革新性・柔軟性をそれぞれ意味する三つの輪をつなぎ合わせることで共生社会が表されている。

③ 表彰式

2010年7月23日に表彰式を挙行し、田中ダイバーシティ推進本部長（理事・副学長）から居関氏に表彰状と副賞が贈られた。



左：ロゴマーク制作者の居関氏
右：田中ダイバーシティ推進本部長
（理事・副学長）



左下：居関氏／右下：田中本部長（理事・副学長）
左上：本水教授／右上：沖室長

IV-4 (5) 新聞報道

新聞各社への掲載一覧

日付	新聞社名等	紹介事業	参考記事 No.
平成 21 年 7 月 13 日	山陽新聞 朝刊	女性研究者支援事業紹介	No. 1
平成 21 年 7 月 27 日	読売新聞 朝刊	女性研究者支援事業紹介	
平成 21 年 9 月 28 日	山陽新聞 朝刊	第 1 回交流サロン	No. 2
平成 22 年 2 月 27 日	リビングおかやま	岡山大学男女共同参画推進国際シンポジウム	
平成 22 年 3 月 10 日	山陽新聞 朝刊	女性サポート相談室開設	No. 3
平成 22 年 7 月 2 日	山陽新聞 朝刊	第 1 回おかやまサイエンス・トーク	No. 4
平成 22 年 8 月 27 日	毎日新聞 朝刊	第 2 回おかやまサイエンス・トーク	No. 5
平成 22 年 8 月 28 日	山陽新聞 朝刊	第 2 回おかやまサイエンス・トーク	No. 6
平成 22 年 9 月 29 日	山陽新聞 朝刊	第 3 回おかやまサイエンス・トーク	No. 7
平成 22 年 10 月 4 日	文教ニュース	外部資金獲得セミナー	
平成 22 年 10 月 9 日	山陽新聞 朝刊	第 1 回岡山 MUSCAT フォーラム	
平成 22 年 10 月 23 日	リビングおかやま	第 3 回交流サロン	
平成 22 年 12 月 2 日	山陽新聞 朝刊	平成 22 年度男女共同参画推進シンポジウム	No. 8
平成 22 年 12 月 2 日	山陽新聞 夕刊	平成 22 年度男女共同参画推進シンポジウム	No. 9
平成 22 年 12 月 3 日	毎日新聞 朝刊	平成 22 年度男女共同参画推進シンポジウム	No. 10
平成 22 年 12 月 3 日	文教速報	メンタリングに関するセミナー	
平成 22 年 12 月 9 日	朝日新聞 朝刊	女性研究者支援の取組み紹介	No. 11
平成 22 年 12 月 10 日	朝日新聞 朝刊	平成 22 年度男女共同参画推進シンポジウム	No. 12

平成 22 年 12 月 11 日	読売新聞 朝刊	平成 22 年度男女共同参画推進シンポジウム	
平成 23 年 1 月 13 日	山陽新聞 夕刊	市民協働事業 講演会&ワークショップ	
平成 23 年 1 月 20 日	山陽新聞 朝刊	市民協働事業 講演会&ワークショップ	
平成 23 年 1 月 21 日	山陽新聞 朝刊	平成 22 年度男女共同参画推進シンポジウム及び女性研究者育成の取組について	No. 1 3
平成 23 年 1 月 28 日	文教速報	平成 22 年度男女共同参画推進シンポジウム	

【No.1】 事業紹介 (2009.7.13 山陽新聞朝刊)

自然科学系の女性研究者

家庭と両立支援

結婚や出産で研究の道を断念しないで。岡山大は本年度から自然科学系の女性研究者を支援するプロジェクトに着手する。公募で女性研究者を新たに雇用し、補助者を付けて研究の負担を緩和、家庭と両立できる支援体制をつくり、優秀な人材を育てていく。

チームで負担緩和

同大によると、大学院では自然科学系の女子学生の割合は10%、博士課程修了者などは40%だが、教員だと通算3%、環境工学で4%などかなり低い。背景には、実験や調査生活が不規則になりがちな上、一層離れると最先端の知識についていけず後進が難しいところがあるという。

プロジェクト名は「学部・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」。本年度、国の科学研究振興費に比べ、年約3500万円が3年間助成される。

計画では、来年度から博士課程修了者などを毎年5〜10人を期して採用し、指導教員とタッグを組む。学内の専任職員、研究補助のスタッフも検討している。

同大男女雇用機会均等法を踏まえて、来年度から専任、パートを問わず、女性研究者に同様の待遇が与えられる。学内の専任職員も指導教員に道を提供した」と話している。(岡大発)

【No.2】 第1回交流サロン (2009.9.28 山陽新聞朝刊)

女性研究者育成 方策考えよう

岡山大、あすサロン

岡山大は、本年度着手した女性研究者を育てるプロジェクト「学部・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」の第1回交流サロンを29日午後1時から岡山市津島中の同大創立50周年記念館で開く。入場無料。

新潟大女性研究者支援室の佐藤孝教授が「女性研究者支援室の活動と男性教員への働きかけの難しさ」と題して講演。岡山大の沖陽子男女共同参画室長

をコーディネーターに佐藤教授や学内の研究者らと交えてパネルディスカッションも行う。

問い合わせは同大男女共同参画室(086-109117011)。

山陽新聞社掲載了承済み

【No.3】女性サポート相談室開設 (2010.3.10 山陽新聞朝刊)



山陽新聞社掲載了承済み

【No.4】第1回おかやまサイエンス・トーク (2010.7.2 山陽新聞朝刊)

研究内容や成果紹介

岡山大女性科学者
一宮高生 関心深める

女性科学者が研究の内容や魅力を話したサイエンス・トーク

岡山大（岡山市北区津島中）の女性科学者が高校生らに成果や研究者への道を紹介する「おかやまサイエンス・トーク」が1日、同校の一宮高であり、理数科3年生約75人が理系分野への関心を深めた。

文部科学省の女性研究者支援モデル育成事業の一環で初めて開催。県内の高校などを対象に本年度5回程度を予定している。

大学院自然科学研究科の吉岡美保特任助教（植物生理学）が「植物の生存戦略」と題し、強い光や高温下で光合成能力が低下する原因や回復の仕組みを解説。大学院生の田崎ゆかりさん（動物生殖生理学）は牛の繁殖をテーマに、培養細胞を使ってホルモンの作用を調べていることや、卒業後の進路について話した。

入矢美沙さん（17）は

「研究内容は難しかったけど、分かりやすく説明してもらい、興味がわいた」と話していた。（伊丹友香）

山陽新聞社掲載了承済み

【No.7】第3回おかやまサイエンス・トーク (2010.9.29 山陽新聞朝刊)



生徒たちに研究内容を説明する吉岡特任助教
(左) 総社高

岡山大(岡山市北区津島中)の女性研究者らから話を聞く「おかやまサイエンス・トーク」が28日、総社市総学院自然科学研究科特

理系分野 興味深めて

岡山大の 総社高で研究紹介

女性助教ら

岡山大(岡山市北区津島中)の女性研究者らから話を聞く「おかやまサイエンス・トーク」が28日、総社市総学院自然科学研究科特

任助教の吉岡美保さん(27)が、植物の光合成

について「太陽光が強くなると機能が低下する」などと分かりやすく説明。同大大学院生の瓜生央大さん(24)は、コオロギを使った体内時計の研究を紹介

した。総社高2年友野愛さん(17)は「説明が分かりやすかった。研究への興味が増えた」と話していた。同トークは、女性研

究者の育成や中高生に理系分野への興味を深めてもらうことなどを狙いに、岡山大が7月から県内の高校で開いている。
(新田真浩)

【No.8】男女共同参画推進シンポジウム
(2010.12.2 山陽新聞朝刊)

◆男女共同参画推進シンポジウム「ダイバーシティこそが活力を生む」
18日後2時、岡山市北区津島中、岡山大創立50周年記念館2階。東芝多様性推進部長の岩切貴乃さん、公立ほこだて未来大の美馬のゆり教授による講演やパネル討論。託児もある。シンポジウムも託児も無料だが10日までに予約が必要。岡山大ダイバーシティ推進本部男女共同参画室(086-125117011)

山陽新聞社掲載了承済み

【No.9】男女共同参画推進シンポジウム
(2010.12.2 山陽新聞夕刊)

◆男女共同参画推進シンポジウム「ダイバーシティこそが活力を生む」
18日後2時、岡山市北区津島中、岡山大創立50周年記念館2階。東芝多様性推進部長の岩切貴乃さん、公立ほこだて未来大の美馬のゆり教授による講演やパネル討論。託児もある。シンポジウムも託児も無料だが10日までに予約が必要。岡山大ダイバーシティ推進本部男女共同参画室(086-125117011)

山陽新聞社掲載了承済み

【No.10】男女共同参画推進シンポジウム
(2010.12.3 毎日新聞朝刊)

男女共同参画推進シンポジウム「ダイバーシティこそが活力を生む」女性研究者が活躍できる組織作りをめざして、18日(土)14時、17時、北区津島中1の1の1、岡山大学創立50周年記念館2階会議室。同大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室(086-25117011)。

毎日新聞社掲載了承済み

【No.11】 男女共同参画推進シンポジウム (2010.12.10 朝日新聞朝刊)

多様な働き方考える
岡大、18日にシンポ
 岡山大男女共同参画室(086・251・7011)は、女性が活躍できる組織のあり方を考えるシンポジウムを、18日午後2時から岡山大創立50周年記念館(岡山市北区津島中1丁目)で催す。
 早くから男女共同参画に取り組む「東芝」の担当部長が報告。情報科学系の「公立はこだて未来大」(北海道函館市)の教授は、開学時における女性や外国人の教職員の積極採用や、その後の定着度について語る。女子高校生に自然科学系のおもしろさを伝える大学教員らによるパネルディスカッションもある。
 岡大男女共同参画室は「多様な働き方ができない職場は生き残れない。女性だけでなく、介護や育児をする男性や外国人が活躍できる組織のあり方、働き方を考えてほしい」と呼びかけている。無料託児は10日まで申し込む。

朝日新聞社掲載了承済み

【No.12】 女性研究者支援 岡山大学の取組について (2010.12.9 朝日新聞朝刊)

理系女子を救え!

学生の4割なのに研究者1割

岡山大学が、自然科学系の女性研究者を増やす取り組みを始めています。理学部での4割を占める女性が、研究者となると1割となり、出産・育児がネックになっており、様々な支援策で10年後に2割まで増やすという。

岡山大の自然科学系(理学、工学、農学、保健、環境)の女性研究者は、422人中42人(2009年2月)。うち31人は看護学などを含む保健系で、それ以外だと数%と少ないという。

そこで、若手を特任助教として年3〜5人採用する枠を設け、3年後に審査して常勤教員に採用する制度を今年度から始め、4人を採用した。これにより3年後に全体で54人とし、10年後には現在の1割から2割に引き上げる。

育児や介護で時間がとれない女性のデータ収集や観察などの研究を手伝う研究支援員制度も今年度から本格実施。6人が利用し、好評だ。計画は国の「女性研究者支援モデル育成事業」。

若手女性研究者枠で採用される

理学部付属牛窓臨海実験所の御奥真穂さん(30)は「結婚や出産で研究を中断すると、(元の研究機関への)再就職は難しい。支援がなければ女性研究者は増えない。女性限定の採用枠はとてもありがたい」と話す。

男女共同参画室の中谷文美・岡大大学院社会科学部研究科教授は、「圧倒的に女性が少なく、採用や昇進の際に『わざわざ女性を選ばなくてもいい』と言う人がまだ多い。学内の意識を変え、女性が研究者を目指す環境を整えたい」と話している。(八尋紀子)

岡大、10年後に2割目標

新たに採用枠／研究に支援員

朝日新聞社掲載了承済み

